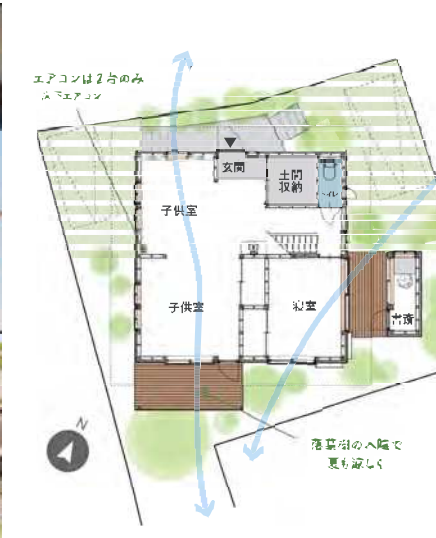




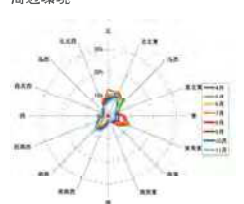
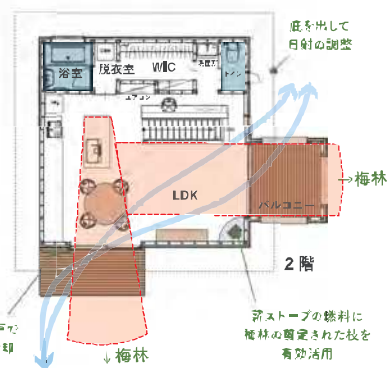
# 「四季を感じる家」

敷地はクライアントご夫妻が昔から二人で通った生越梅林。いつか梅に囲まれた家を作りたいということで、梅林に囲まれた住宅地の一角をご購入。ただ普通に家を配置してしまうと、東西南北に家が建っているため梅林が望めない。そのため、配置をわざと斜めに振ることでどこからでも梅林を望めるように計画した。

物件概要 / 坪下奥入門都越々町 / 建築面積：75.81㎡ / 延べ面積：120.90㎡



## 梅林を望むために 配置を斜めに振る。



キッチンから続くダイニング、その横にはウッドデッキを設けてその先にある梅林を楽しむような計画とした。リビング横には半屋外のアウトドアリビングを創出。梅林だけでなく、バベキュやお昼寝などの自然にさらされずに屋外空間を楽しむスペースとした。



## パッシブデザインと エアコン1台で快適に暮らす。

UA値：0.49W/(㎡・K)

C値：0.1cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>

完全外張り断熱

高断熱・高気密住宅であることに加え、パッシブデザインを取り入れることで、入居後も暖房に頼らなくてもムルムエアコン1台で家全体の快適さを保てる。エアコンは2台のみ設置し、基本は冬1台のみを使用する。

住宅性能表示 / 1-1 断熱等級：3 / 2-1 気密等級：3 / 2-2 断熱等級：2 / 劣化対策等級(構造躯体等)：5 / 仕様管理対策等級(年月別)：3 / 断熱等級別等級：4(2層の区分)：5 / 冷暖房の平均日射取得率：2.6



### 地元の木で建てる。

本造材には埼玉県熊谷市の西川材(ひのき)・供産産材(ひのき)を採用している。地元産材は、気候にあわせて長持ちし、北風の山にも耐え、家の耐久性を向上させる。弊社では、果敢気流が少ない、産地産材の良質な活かした木の炭づくりをおすすめている。住まい手によるプレカット材の受取も行っており、ご自分の家に使われる材の加工を見ることが、家への愛着を深めることが期待できる。(※加工は弊社で行います。)



1階は日当たりも悪く、景観が望めないため和室や子供室を配置。子供室から出られるウッドデッキを設け、フロンコを設置していつでも外を楽しむように計画した。憩いからはウッドデッキを介してつながる書斎を計画。一人で集中したいときは家族の気配を感じながらも、木々を楽しみながら集中できる書斎となった。

2階は広々ワンルームとすることで、まだ小さな子供たちに目が届くように計画。キッチン前に設けた勉強コーナーは大活躍。家事をしながら子供たちに声を掛けられる。窓の横に設けた本棚とベンチ。ここは子供たちのお気に入り。さらにロフトでは大卒の本棚。子供たちの隠れ家となっている。